

## 第六期長期計画無作為抽出市民ワークショップの結果報告（概要）

## 1. 募集方法

無作為抽出で1,500名の在住市民に案内を送付した。うち、1,000名は年齢18歳以上の市民からの無作為、500名は18歳以上30歳以下の市民から無作為抽出した。

## 2. 参加者決定者の内訳

当初の定員（60名）を超える94名から応募があり、定員を増やす対応を行った。会場の都合もあり、2日間参加できる方を優先して参加者を決定した。

区分	人数	割合
男性	41名	51.9%
女性	38名	48.1%
合計	79名	

区分	人数	割合
～20代	21名	26.6%
30代	10名	12.7%
40代	9名	11.4%
50代	11名	13.9%
60代	15名	19.0%
70代	13名	16.5%
合計	79名	

## 3. 実施結果

【第1回】3月3日（日）午後1時～5時 市役所 811会議室

参加人数 69名（12テーブル）※傍聴者1名、託児1名

【第2回】3月10日（日）午後1時～5時 市役所 811会議室

参加人数 64名（12テーブル）※傍聴者2名、託児1名

## 4. 市民ファシリテーターについて

- ・コミュニティ未来塾むさしのの修了生に協力を依頼。
- ・3月3日（日）に12名、10日（日）に13名の協力を得た。

## 5. プログラム

○3月3日（1日目）

長期計画策定とワークショップの目的・趣旨説明
ワークショップの進め方の説明/自己紹介
ワーク「武蔵野市のいいところ、いまいちなところ」
「基本課題A 少子高齢社会への取り組み」説明/ワーク「期待と不安」/全体共有
「基本課題B まちの活力の向上・魅力の発信」説明/ワーク「期待と不安」/全体共有

○3月10日（2日目）

ワークショップの目的・趣旨説明/1日目の振り返り（動画）
ワークショップの進め方の説明
「基本課題C 安全・安心を高める環境整備」説明/ワーク「期待と不安」/全体共有
「基本課題D 公共施設・都市基盤の再構築」説明/ワーク「期待と不安」/全体共有
「基本課題E 参加・協働のさらなる推進」説明/ワーク「期待と不安」/全体共有
「スローガンを考える」の進め方の説明
ワーク「スローガンを考える」/スローガン投票・結果発表

6. 各基本課題に対するグループの意見（全体共有で発表された意見）

◆基本課題A 「少子高齢社会への取り組み」

グループ1

- ・少子高齢化は高齢者や子どもだけではなく、その中間層（現役世代）への支援も課題である。
- ・DINKS への転入（引越し）の支援も必要だと思う。
- ・健康寿命を伸ばす取り組みがほしい。
- ・保育園が増えて待機児童が減ってほしい。
- ・市内に産科が少ないということを感じる。
- ・介護する人の負担が大きいし、ボランティアの担い手不足を感じる。

グループ2

- ・子どもの医療費の無償化や、保育園の数や質が高まることは期待する。
- ・高齢者にとっては、居場所や働くところが確保されると良い。
- ・若い世代の育成には期待感がある。一方で、18歳医療費無償化は良いけれど、その財源はどうするのか。
- ・子育て世代や高齢者を一括りにしているようにも感じるが、人それぞれに必要な政策が違うと思う。

3グループ

- ・少子高齢化と言うが、少子化と高齢化を一緒にして良いのだろうか。分けて考えるべきだと思った。
- ・保育士の人材不足への不安があり、待遇改善が必要だと思う。
- ・高齢者の健康のために体を動かすのも良いが、頭を使う活動もあると良い。
- ・テンミリオンハウスという名前だけだと何をしているかわからない。施策が何を意味しているわかりやすく伝えてほしい。
- ・病院が少ないので、救急や産科に対応できる病院も増えてほしい。

4グループ

- ・施策を聞いて、初めて知ることが多かった。
- ・討議要綱の内容を自分自身の生活に落とし込むのに苦労した。
- ・いろいろなサービスの拡充に期待感を持ったが、そのサービスがどうしたら軌道に乗るのか（人材や運用の問題）ということが不安にもなった。

- ・今後も武蔵野市は人口が増えていくとしても、どのように維持をしていけば良いのだろうか。

◆基本課題B 「まちの活力の向上・魅力の発信」

9 グループ

- ・最近吉祥寺をはじめとした市内の商店街でチェーン店が増えていて、個性のある店が少なくなってきたのが不安。
- ・若手事業者やクリエイターへの支援によって新たなブランド力づくりが期待される。
- ・景観について、電柱を地中化する、民有地など市民が緑をつくる努力なども必要なのではないか。
- ・駅前や屋外スペースを活用したパフォーマンスやフリーマーケットなど、一時的に観光客が増えるイベントだけではなく、継続的な取り組みも期待したい。
- ・せっかくイベントをやるなら、地産地消を活かしたり、多様な世代が参加できたりするものにしてほしい。
- ・アニメの活用に頼り切るのは慎重にしてほしい。

10 グループ

- ・環境やクリエイター人材の存在が魅力であり、資産だと思うので、有効活用していきたい。
- ・緑（樹木・農地）の多さも魅力だが、生産緑地の制度が変わることで地産地消が保たなくなるのではないかという不安もある。
- ・武蔵野市の魅力をもっと発信するために、IT ツールをもっと活用してほしい。市のHP ももっと魅力的にできると思う。
- ・一方で、魅力が増えることから人口が増えるとしたら、街中の混雑などの弊害がある。観光客を増やすことも良いことばかりではない。

11 グループ

- ・外国人が増えることに不安がある。
- ・国際化が進むとしたら、英語力のある市民の力を活用するなど、市民参加を促進したい。
- ・市内3駅の個性はそれぞれ違うと思うが、武蔵境駅周辺にはもっとお店が増えたら良いと感じているが、まちのそれぞれの特徴は持ち続けてほしい。
- ・いまの住みやすいと感じる武蔵野市のまま、変わらない・発信しないという考え方もあるのではないか。
- ・ブランディングを武蔵野市から発信するよりは、様々な魅力を活かして民間に任せるのも良いのではないか。
- ・便利になることで人口が増えたらさらに家賃が高くなってしまわないか。
- ・緑の多い武蔵野市であることは続けてほしい。

12 グループ

- ・文化・アニメだけのまちなのか？それだけに頼るのも不安を感じる。

- ・武蔵野市のことでも知らない情報がたくさんある。若者に向けて SNS を活用してほしい。活用していたとしても、魅力的かどうかが重要。
- ・今後はキャッシュレスが必須になるので対応してほしい。
- ・図書館や武蔵野プレイスは素晴らしいので、今後も充実してほしい。
- ・アニメ産業を活用したイベントをもっと増やすと良いと思う。
- ・駅前が便利になってきてバスの往来は改善されているとは思いますが、まだ不便さがある。たとえばバスターミナルを地下にすることはできないだろうか。

◆基本課題C 「安全・安心を高める環境整備」

1 グループ

- ・バリアフリーに期待している。道幅を広くすることや段差をなくしてほしい。
- ・道幅が自転車で通るには狭かったり、暗い路地が怖いので、まだ対策できるところがあるのではないかな。
- ・防犯カメラは意見が分かれるところだが、取り付けることによって抑止力になるのではないかな。
- ・子育て世代からすると産科のある病院が少ない。2つぐらいしかないのは問題なのではないかな。

2 グループ

- ・武蔵野市は坂も少なく自転車が使いやすいため、駐輪場や自転車道を整備することでより安全につながるのではないかな。
- ・防災への要望が高いということは、裏を返せば不安があるということなので、それを緩和させる第一歩は情報ではないかな。
- ・武蔵野市が相談窓口を整えていることを今日まであまり知らなかったが、情報を届けるところにも力を置くと最後の支援につながると思う。
- ・防犯・防災に関しては、市民による自助も必要という意見も多数出た。

3 グループ

- ・電柱の地中化は、景観はもちろん防災面でも有効なので、急いでほしい。
- ・災害が起きた時の情報を地域密着で伝達できる仕組みがあると良い。家族ごと、地域ごと、事情別にどう訓練をしていくのが実効性のあるものなのか、まず実行していくことが必要。
- ・介護や子育ての支援にどういったものがあるのか、市民に伝わるやり方はあると思う。
- ・安全対策上や街の活気という面でも、空き家対策は大切。空き家予備軍を市が認識して事前に手を打っていくことが必要ではないかな。

◆基本課題D 「公共施設・都市基盤の再構築」

6 グループ

- ・そもそも、公共施設をどう捉えれば良いのかがまずわからなかった。
- ・コミュニティセンターは武蔵野市の大きな特徴だが、どういう施設なのか理解していない人が多い。誰がどうやって利用するのか？なかなか活用できていないのではないかな。
- ・スポーツをする人は結構いるので、ボール遊びをできる公園から幅広い運動ができる施設まで、スポーツ施設を充実させてほしい。
- ・街並みはきれいになってきたが、電柱の問題は考えていかないといけない。
- ・多様な価値観があるので、市民の合意は何を基準に考えるのか。
- ・時代の変化に対応していくには、負の遺産を維持することから新しいニーズへの対応をもっと考えていかななくてはならない。
- ・財政的に厳しくなることが危惧されるなら、奇抜なふるさと納税などを考えてもらいたい。

#### 7 グループ

- ・市民ホールの老朽化対策が必要ではないか。
- ・狭い道路は子供が通るのに危ない。
- ・公共施設をつくる時に何を優先順位にしているのか？市から具体的な説明が欲しい。
- ・武蔵野プレイスは素晴らしい複合施設だと思う。
- ・図書館の充実化も良い。
- ・陸上競技場はオリンピックも見込んで積極的に使用して良い施設にしてほしい。
- ・施設を統合して複合化していくのは良い方向だと思う。世代交流型施設を目指してほしい。
- ・市の財産を有効的に使うのは、公共資源への有効な投資ではないか。

#### 8 グループ

- ・メンバーで思いを語り合った。期待するところは、ごく簡単に汗を流せる場所が欲しい。
- ・ひとつひとつの施設が独立してできているので、多用途・多目的に使える複合施設があると良い。
- ・電柱を地中化するなり、住環境を良くしてもらいたい。ただ、そうすると市の財政負担が重くのしかかってくる。
- ・防災マップを見ると、歴史的価値のある玉川上水などが氾濫する可能性ある。
- ・武蔵境の浄水場は東京都に譲り受けてもらって、防災拠点としての利用や人に住んでもらって財政を補うということもありではないか。

#### ◆基本課題E 「参加・協働のさらなる推進」

#### 11 グループ

- ・市民参加って何だろう？という話をした。実はみんな市民参加しているのでは？でも、うまく市民自身に伝わっていないのではないかな。

- ・市と市民との距離が適切なのか。市にこうして欲しいという意見があつて、それが市長や役員にちゃんと伝わっているのか、分からない。伝わっているなら広報してほしい。
- ・ケーブルテレビは正直、関係者しか見ていないのではないか。市民参加への情報がそもそも足りていない。参加できる機会、場をつくって欲しい。
- ・「市民の日」を作ればよいのではないか。

## 12 グループ

- ・変革は必要というところから話し合った。市民参加についてはさまざまなイベントが必要。
- ・コミュニティセンターでは子育てや高齢者向けのイベントがほとんど。若者向けが足りないのではないか。
- ・イベントを開きたいと思った人が気軽にできる・集まれることへの行政からの支援が欲しい。
- ・青少年のスポーツクラブの衰退について心配している。
- ・情報発信の大切さ。高齢者向けの市報必要だと思うが、若者向けにはアプリで配信されたら面白いのではないか。パッと見てわかりやすい、楽しそうだと良い。
- ・市政をもっと開示できるのではないか？ こうしたワークショップの結果どうなったのかということも広く開示していただきたい。

## 7. 各グループからのスローガン

### ◆投票数ベスト3は以下のとおり

- ①「高い税金には訳がある…。離れたくない街 武蔵野市。全世代、充実。」 〈16票〉
- ②「好きだよ！ずっと私でいられる街 住み続けたい 武蔵野市」 〈15票〉
- ③「見える!! 未来をつくろう武蔵野市 ～住みたい街から住み続けたい街へ～」 〈14票〉

### ◆他のグループからの候補一覧

- ・「市民力で創る 全力で遊べる街 武蔵野市」
- ・「武蔵野だよ！全員注目！ ずっと住みたい 歩みつづける わたしたちのまち」
- ・「改革と伝統の文化をみんなで創造する街」
- ・「イキイキ ワクワク 武蔵野市」
- ・「私達が創る未来の街 武蔵野市」
- ・「未来を動かす 私の武蔵野市 みんなの武蔵野市」
- ・「叶えよう 市民輝く 武蔵野市」
- ・「住んで 働いて happy な街「むさしの」」
- ・「私の幸せをみんなの幸せに 愛される武蔵野市を作ろう！」